

【】世界の農業

[問題]

次の表のア～エは、小麦、米、大麦、大豆のいずれかの 2014 年における生産量が多い世界の上位 4 か国を示したものである。小麦にあてはまるのは、表中のア～エのうちのどれか。

	1 位	2 位	3 位	4 位
ア	アメリカ	ブラジル	アルゼンチン	中国
イ	ロシア	ドイツ	フランス	ウクライナ
ウ	中国	インド	インドネシア	バングラデシュ
エ	中国	インド	ロシア	アメリカ

(東京都)

[解答欄]

[解答]エ

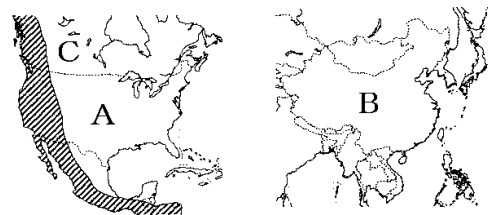
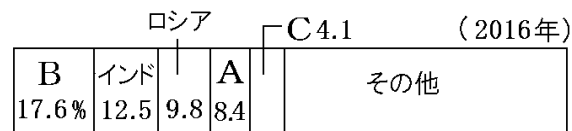
[解説]

小麦と米については、1 位中国、2 位インドと共通である。3 位以下が異なる。米はアジアの国が、小麦はアメリカやヨーロッパの国が並ぶ。アは<sup>大豆</sup>大豆、イは大麦、ウは米、エは小麦である。小麦生産順位(2016 年):中国(17.6%),インド(12.5%),ロシア(9.8%),アメリカ(8.4%),カナダ(4.1%)

(統計修正)「世界国勢図会 2018/2019」 P205

[問題]

下のグラフは、2016 年における小麦、米、とうもろこし、綿花のうち、いずれか 1 つの農産物の国別生産割合を示したものであり、グラフ中の A～C は、それぞれ地図中の国 A～C を示している。この農産物は何か。その名称を書け。



(新潟県)

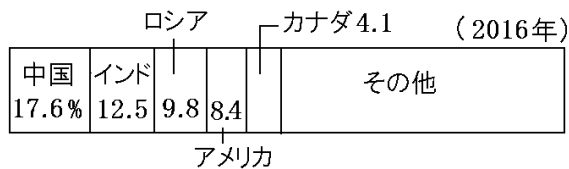
[解答欄]

【解答】小麦

(統計修正)「世界国勢図会 2018/2019」 P205

【問題】

略地図中の●で示した地域は、2つの国におけるある農産物の主な栽培地域を示している。また、グラフは、この農産物の生産国別割合(2016年)を示している。この農産物は何か。



(和歌山県)

【解答欄】

【解答】小麦

(統計修正)「世界国勢図会 2018/2019」 P205

【問題】

次はある農産物の国別輸出割合(2016年)の上位第4位までの国である。この農産物を、下の[ ]から1つ選べ。

ロシア(13.8%), アメリカ(13.1%), カナダ(10.7%), フランス(10.0%)

[ 米 小麦 とうもろこし 綿花 ]

(山梨県改)

【解答欄】

【解答】小麦

【解説】

小麦の生産量は1位中国、2位インドであるが、これらの国は人口が13億人をこえるために、生産された小麦のほとんどは自国内で消費される。小麦の輸出が多いのは、ロシア、アメリカ、カナダ、フランスなどである。

(統計修正)「世界国勢図会 2018/2019」 P222

[問題]

次の図は、わが国とアルゼンチン、イギリス、インド、フランスの小麦の収穫時期を示したものである。図中のア～エのうちアルゼンチンにあてはまるものはどれか。1つ選んで、その記号を書け。

国名\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日本						—	—	—				
ア			—	—	—							
イ						—	—	—				
ウ									—	—	—	
エ	—											—

(香川県)

[解答欄]



[解答]エ

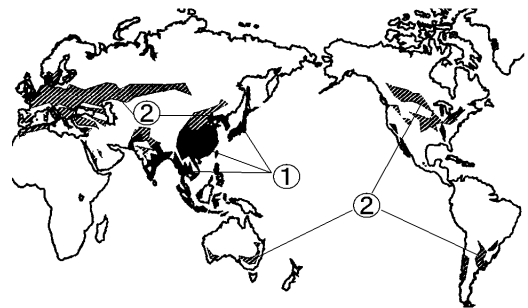
[解説]

小麦は初夏～秋にかけて収穫される。イギリス、インド、フランスは日本と同じく北半球にある。アルゼンチンは南半球にあるため、北半球とは季節が逆になり、12月・1月は夏にあたる。したがって、エがアルゼンチンの収穫時期を示していると判断できる。

[問題]

右の略地図は、世界における小麦と米のおもな栽培地域を示したものである。

- (1) 図中の① , ② のうち、おもな小麦の栽培地域を示すものはどれか。
- (2) 次のA, B, Cの文のうち、小麦について述べた文として最も適当なものはどれか。



- A 先進国ではほとんど栽培されず、おもに発展途上国で栽培されている。
- B 比較的気温が高く降水量の多い地域でおもに栽培されている。
- C 比較的冷涼で乾燥した地域でおもに栽培されている。

(愛知県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

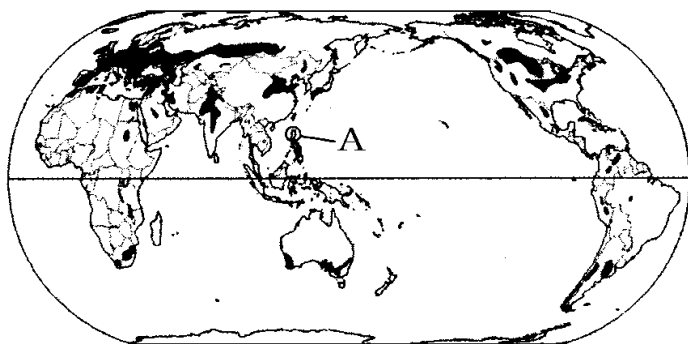
[解答](1) ② (2) C

[解説]

小麦は、ヨーロッパ、アメリカ、西アジアなど多くの国で主食になっている。小麦は比較的冷涼で乾燥した地域でおもに栽培されている。

[問題]

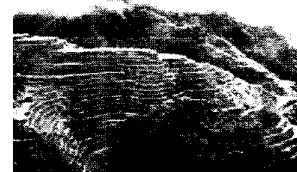
小麦，米，とうもろこしは，世界の三大穀物と呼ばれている。次の各問いに答えよ。



(1) 略地図中の■■■■で示した，世界の主な小麦の栽培地域について述べた文として正しいものを，次のア～エから全て選び，その記号を書け。

- ア 南極大陸を除く全ての大陸に栽培地域が広がっている。
- イ 南アメリカ州で，栽培地域が最も広いのはブラジルである。
- ウ 温帯だけでなく冷帯の地域にも，栽培地域が広がっている。
- エ 主な栽培地域は，季節風の影響で降水量が多い地域である。

(2) 米はアジアを中心とした地域で栽培されている。右の資料は，略地図中の A の地域における伝統的な水田の様子を示したものである。このような，山地の斜面につくられた水田のことを何というか。その名称を書け。



(3) とうもろこしは，人間の食料や家畜の飼料としてだけでなく，地球温暖化対策になると考えられている新しい燃料の原料としても利用されている。このような，とうもろこしなどの植物を原料としてつくられる燃料を何と呼ぶか。その名称を書け。

(奈良県)

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) ア，ウ (2) 棚田 (3) バイオエタノール(バイオ燃料)

[問題]

Kさんは、世界の自然環境や生活・文化と農業の関連について調べた。これについてまとめた次のア～エの説明文のうち、誤っているものを1つ選び、その記号を書け。

ア アフリカのサハラ砂漠やオーストラリア内陸部の乾燥地域では、食料や家畜の飼料として利用されるともろこしがさかんに栽培されている。

イ 中央アジアから西アジアにかけては、羊の飼育が多い地域となっている。これは羊が乾燥に強いだけでなく、この地域に多く住むイスラム教徒が、豚肉を食べないことにも関係がある。

ウ 小麦は、米に比べて気温の低いところや降水量の少ないところでも栽培ができ、ヨーロッパやアメリカ合衆国の中部などでさかんに栽培されている。

エ 米は、小麦に比べて高い気温と多くの水が必要で、中国の南部やインドの東部などでさかんに栽培されている。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

アが誤り。サハラ砂漠やオーストラリア内陸部の乾燥地域では、雨がほとんど降らないので植物の栽培はできない。

[問題]

ある国の経済が、特定の農産物や天然資源に頼っている状態のことを何というか。

(宮城県)

[解答欄]

[解答]モノカルチャー経済

【】 日本の農業

【】 特色

[問題]

次の文中の①、②の( )内からそれぞれ適語を選べ。

日本の農業は、世界的に見ると農家 1 戸あたりの耕地面積は①(広く／せまく)、単位面積あたりの生産性は②(高い／低い)。

(茨城県)

[解答欄]

①	②
---	---

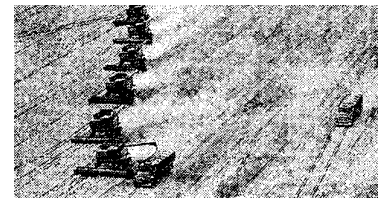
[解答]① せまく ② 高い

[解説]

日本では、せまい農地に肥料を多く使い、農作業の機械化で労働力の節約をすすめてきた。その結果、単位面積あたりの収穫量は多い。日本の農業の経営規模の拡大は、農地の借り入れや農作業の受委託などによって進められているが、農業従事者 1 人あたりの農地面積は 3.7ha(2012 年)にとどまっており、先進農業国とは大きな開きがある。例えば、アメリカの農業従事者 1 人あたりの農地面積は 169.6ha(2012 年)と日本の場合の約 46 倍で、農業機械を使った大規模農業を行っている。アメリカでは 1 人あたりの収穫量が非常に多いため、生産コストを安く抑えることができる。

[問題]

右の写真はアメリカ合衆国の小麦の収穫風景である。また、下の表は日本とアメリカ合衆国の農業従事者 1 人あたりの農地面積を示したものである。写真と表を参考にして、日本の穀物栽培がアメリカ合衆国と比べ、国際競争で不利になる理由を説明せよ。



(2012 年)

国名	農業従事者 1 人あたりの農地面積
日本	3.7ha
アメリカ合衆国	169.6ha

(島根県改)

[解答欄]

--

[解答]農業機械を使った大規模農業を行っているアメリカでは、1人あたりの収穫量が非常に多いため、生産コストを安く抑えることができるため。

[問題]

農産物の輸入自由化の影響や外国からの安い農産物に、日本の農業はおされがちである。しかし、これに対抗するために日本国内の農家は( )などさまざまな取り組みをおこなっている。( )に適する具体的な取り組みを簡潔に書け。

(宮崎県)

[解答欄]

[解答]高度な生産技術を開発したり、品質や安全性を大切にしたりする

[解説]

わが国の農業は兼業経営が大部分を占めるので、工業や他国農産物に比べ生産性が低く、はるかに割高なものが多い。今後高度な生産技術を開発して生産性を高めるとともに、割高でも品質や安全性でまさるといふ魅力をつくり出すことが必要である。

[問題]

最近、右の資料のように、果実の生産者が、インターネットを使って、生産物を消費者に直接販売する場合もあることがわかった。このような販売のしかたは、生産者の立場からみて、どのような利点があるか。消費者と直接にかかわりをもつことができることに着目して、具体的に1つ書け。

(山形県)

[解答欄]

[解答]消費者の要望を直接とらえて、それを生産や販売にいかすことができること。



【】 稲作

【問題】

次は、米の生産量の多い都道府県を、第5位まで示したものである。( )にあてはまる都道府県名を、漢字で書け。

1位 新潟県 2位 ( ) 3位 秋田県 4位 茨城県 5位 山形県

(大分県)

【解答欄】

【解答】北海道

【解説】

米の生産量 1, 2位は北海道と新潟が競っている。2017年では、①新潟県(7.8%)、②北海道(7.4%)、③秋田県(6.4%)、④山形県(4.9%)、⑤茨城県(4.6%)、⑥宮城県(4.5%)、⑦福島県(4.5%)、⑧千葉県(3.8%)、⑨栃木県(3.8%)、⑩岩手県(3.4%)、⑪青森県(3.3%)



(統計修正)「日本国勢図会 2018/2019」P145

【問題】

略地図は、土地利用に関する主題図である。Xにあてはまるものはどれか。次の[ ]から1つ選べ。

[ 果樹園 畑 水田 牧草地 ]

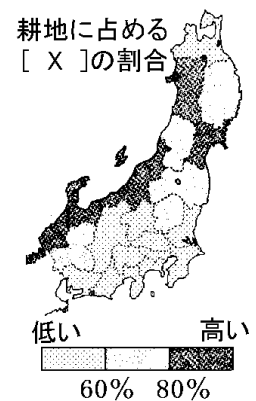
(鹿児島県)

【解答欄】

【解答】水田

【解説】

北陸や東北地方が高い割合になっているので、Xは米であると判断できる。





[問題]

新潟県をはじめ、米づくりのさかんな地域では、近年、米の消費量が減少するなかで、収益を向上させるために、米の生産や流通にさまざまな努力や工夫をしている。努力や工夫の具体的な例を1つ書け。

(北海道)

[解答欄]

[解答]銘柄米の生産

[解説]

1994年に、新食糧法が制定されて、米の自由販売が認められるようになった。銘柄米など味のよい米が消費者に好まれる傾向にあり、稲作農家はおいしい米作りに努めている。銘柄米としては、コシヒカリ(新潟県・福島県)、はえぬき(山形県)・あきたこまち(秋田県)、ひとめぼれ(宮城県・岩手県)、つがるロマン(青森県)などが有名である。

[問題]

日本の稲作の説明として誤っているものを、ア～エから1つ選び、符号を書け。

- ア 山間部よりも、平野や盆地で主に生産されている。
- イ 高い収益をあげる銘柄米の開発が進められてきた。
- ウ 北海道や東北・北陸地方において、生産量が多い。
- エ 米の消費量が年々増え、水田の面積は増加傾向にある。

(大分県)

[解答欄]

[解答]エ

## 【】 近郊農業

### [問題]

大都市に近い立地条件を生かした園芸農業を何農業というか。

(青森県)


### [解答欄]

[解答]近郊農業

### [解説]

東京などの大都市の周辺では、野菜・花などを生産する近郊農業がさかんである。大消費地に近いので、新鮮な野菜を出荷できる点で有利である。特に、鮮度を要する野菜は大都市周辺の県の生産量が多い。

### [問題]

で示した県は、ある農産物の生産量で全国における上位3県(2016年)である。その農産物は次のどれか。

[ 米 ほうれんそう りんご みかん ]

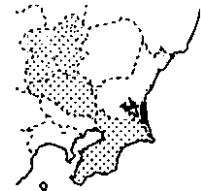
(長崎県)

### [解答欄]


[解答]ほうれんそう

### [解説]

ほうれんそうの上位3県(2016年)は、千葉県、埼玉県、群馬県である。  
(統計修正)「日本国勢図会 2018/2019」P158



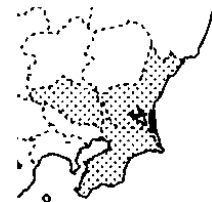
### [問題]

略地図中のは、ねぎの生産量が多い上位3県(2016年)を示している。これらの県で生産量が多いのはなぜか。自然的な条件以外の面から書け。

(鹿児島県)

### [解答欄]

[解答]大消費地に近いから。



【解説】

ねぎの上位3県(2016年)は、千葉県、埼玉県、茨城県である。  
(統計修正)「日本国勢図会 2018/2019」P158

【問題】

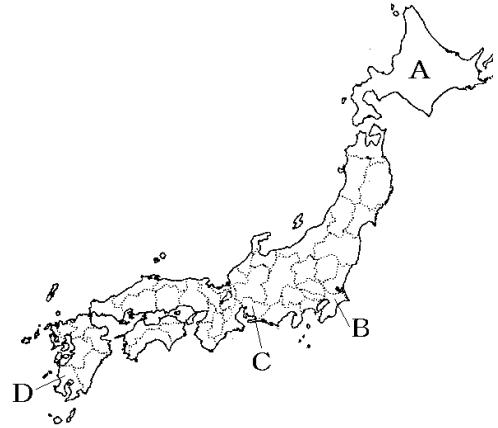
次の説明にあてはまる道または県を、地図のA～Dから1つ選び、記号で答えよ。

火山灰におおわれた台地では、ほうれんそう、ねぎ、キャベツなどの野菜生産や乳牛、鶏の飼育がさかんである。また、南部では花の栽培もおこなわれている。

(鳥取県)

【解答欄】

【解答】B



【問題】

右の資料の■部分の農業の特色としてもっとも適当なものを、次のア～エから1つ選んで記号で書け。

- ア 涼しい気候を利用し、時期をずらして野菜を出荷している。
- イ 広大な土地を利用した酪農がさかんである。
- ウ 大都市向けの野菜などの栽培が行われている。
- エ 米作りがさかんで、銘柄米生産の中心地である。

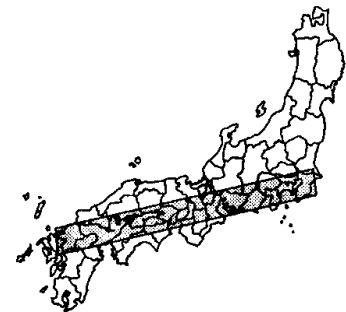
(福井県)

【解答欄】

【解答】ウ

【解説】

太平洋ベルト地帯の大都市周辺では近郊農業がさかんである。



【】 促成栽培・抑制栽培

【問題】

高知平野では、温暖な気候を利用した野菜の栽培が行われている。この地域の野菜の栽培に関する説明として最も適切なものはどれか、ア～エから1つ選べ。

- ア ビニールハウスの中で野菜の生育を早めている。
- イ ため池の水を利用して夏に野菜を育てている。
- ウ 大消費地に近いので野菜を新鮮なまま出荷している。
- エ 大型機械を使い野菜を安く大量に生産している。

(徳島県)

【解答欄】

【解答】ア

【解説】

高知平野や宮崎平野では、温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどの施設を使った野菜(きゅうり・ピーマン・なすなど)の促成栽培がさかんに行われている。きゅうり・ピーマン・なすなどは夏野菜であり、本来、寒い冬には栽培できない作物である。高知平野や宮崎平野では、冬から秋にかけて、ビニールハウスの中で重油を使ってあたためて、これらの夏野菜を栽培している。施設費や燃料費がかかるが、それでも、高く売れるので利益は大きい。温暖な地方ほど燃料費が安くすむので、高知平野や宮崎平野などで野菜の促成栽培がさかんである。これらの野菜を、大型冷蔵庫のついたトラックで東京などの遠距離の消費地に出荷しているが、近年の高速道路網の発達によって輸送時間が短縮されたため、野菜の鮮度を保つことができる。



【問題】

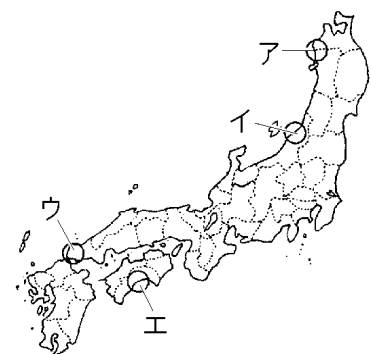
次の農業の特色について述べている地域はどこか。地図中ア～エから1つ選び、記号を書け。

1年を通して温暖なこの地域では、ビニールハウスなどで、きゅうり、ピーマンなどの野菜を栽培し、出荷する促成栽培がさかんに行われている。

(沖縄県)

【解答欄】

【解答】エ



[問題]

促成栽培とはどのような栽培方法か，施設と出荷時期の面から書け。

(石川県)

[解答欄]

[解答]ビニールハウスなどを用いて作物の成長を促し，早く出荷できるようにする方法。

[問題]

高知県では，野菜の生産・出荷時期を早める工夫をしており，保冷車を使用したり，高知自動車道などを利用したりして出荷している。下線部の目的を，次の2つの語を用いて簡潔に書け。

[ 距離 野菜 ]

(秋田県)

[解答欄]

[解答]輸送する距離が長いので，野菜の鮮度を保つ必要があるから。

[問題]

長野県の高地では，夏の冷涼な気候を利用して，他の産地よりも時期を遅らせてレタスなどを栽培している。このような栽培方法を何栽培というか。

(補充問題)

[解答欄]

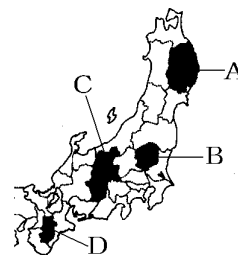
[解答]抑制栽培

[解説]

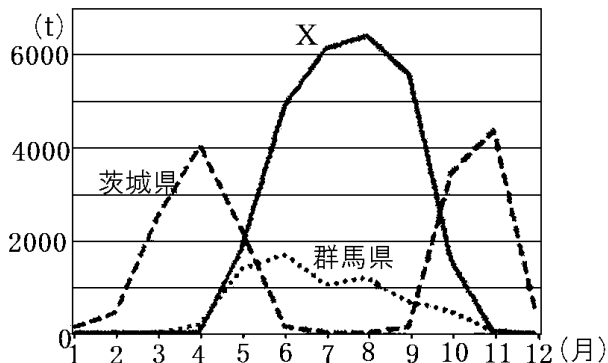
キャベツ・レタス・はくさいなどは涼しい時期に作られる野菜であるため，本来夏には作ることができない。標高の高い中央高地では夏の間も20℃前後と涼しいため，キャベツ・レタス・はくさいなどを，夏に比較的高い値段で出荷している。このような農業を高冷地農業という。涼しい気候を利用して収穫・出荷を(春よりも)遅らせるという意味で抑制栽培ともよんでいる。

[問題]

次の資料Ⅰは、わが国の2015年におけるレタスの生産量上位3位までの都道府県が、その年に東京都中央卸売市場へ出荷した量を月別に表したものであり、資料Ⅱは、わが国の平均標高の高い上位5位までの都道府県を表したものである。資料Ⅰと資料Ⅱ中のXには、同じ都道府県名が入る。この都道府県を、地図中のA～Dから1つ選べ。



資料Ⅰ



資料Ⅱ

順位	都道府県名	平均標高(m)
1	( X )	1132
2	山梨県	995
3	群馬県	764
4	岐阜県	721
5	富山県	665

(高知県)

[解答欄]

[解答]C

[解説]

標高の高い長野県(C)の中央高地では夏の間も 20℃前後と涼しいため、レタスなどを、夏に出荷する高冷地農業がさかんである。

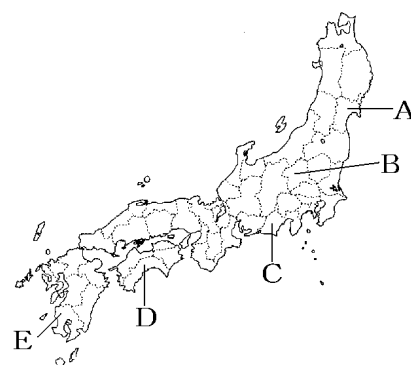
[問題]

近年の農業では、大消費地向けの野菜の栽培がさかんに行われている。次のア、イは、略地図中のA～Eのどの県について述べたものか、それぞれ1つずつ選び、記号で答えよ。

ア この県の平野部では、第二次世界大戦以降、ビニールハウスや温室を利用した野菜の促成栽培がさかんである。特になすの生産量は全国一である。

イ この県の西部では、高原の涼しい気候をいかした高冷地農業がさかんである。主に、キャベツを夏から秋にかけて出荷する。

(山形県)



[解答欄]

ア	イ
---	---

[解答]ア D イ B

[解説]

D は高知県。B は群馬県。

【】 果実・茶

[問題]

右の表はりんごの生産量(2016年)が多い上位5県を示したものである。表中のBにあてはまる県名を書け。

(茨城県)

[解答欄]

[解答]長野県

[解説]

(果実の生産量上位県：2016年)

	第1位	第2位	第3位	第4位以下
みかん	和歌山 20.0%	愛媛 15.9	静岡 15.1	熊本, 長崎, 佐賀
りんご	青森 58.5	長野 18.6	山形 6.0	岩手, 福島, 秋田
ぶどう	山梨 23.7	長野 16.1	山形 10.4	
もも	山梨 31.3	福島 23.0	長野 12.6	
おうとう	山形 75.8	北海道 7.8		
日本なし	千葉 13.2	茨城 10.0	栃木 7.9	
かき	和歌山 20.0	奈良 14.7	福岡 7.0	

(統計修正)「日本国勢図会 2018/2019」P155

県名	生産量(千 t)
A	448
B	142
C	46
D	44
福島県	27

[問題]

右図のXにあてはまる県と「ある果実」の組み合わせとして最も適当なものはどれか。

- ア 福島・もも
- イ 愛媛・みかん
- ウ 青森・りんご
- エ 山梨・ぶどう

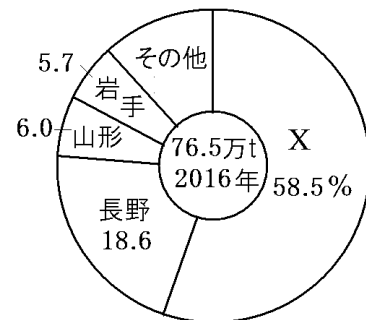
(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]ウ

(統計修正)「日本国勢図会 2018/2019」P155

「ある果実」の都道府県別生産割合





[問題]

次は、ある果実の都道府県別生産高割合(2016年)を示したものである。この果実を、[ ]の中から1つ選べ。

1位：和歌山県(20.0%)、2位：奈良県(14.7%)、3位：福岡県(7.0%)

[ うめ みかん かき もも ]

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]かき

(統計修正)「日本国勢図会 2018/2019」 P155

[問題]

略地図に■で示した3つの県は、ある農作物の収穫量上位3県である。この農作物が栽培されている場所を示す地図記号として最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書け。



ア イ ウ エ

(三重県)

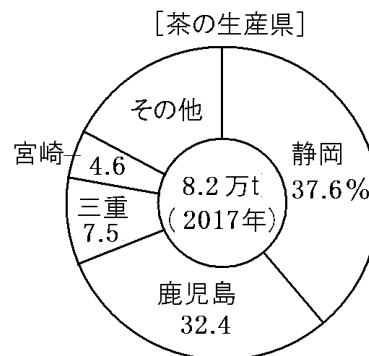
[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

地図記号のアは畑、イは果樹園、ウは茶畑、エは田(水田)である。

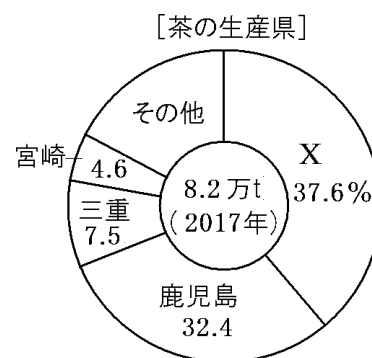
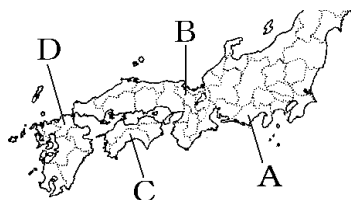
地図の3県は静岡県、三重県、鹿児島県で、この3県が上位3位をしめる農産物は茶である。



(統計修正)「日本国勢図会 2018/2019」 P159

[問題]

右の資料は、我が国の 2017 年における茶の生産量に占める各都道府県の割合を表したものである。資料中の X に当てはまる都道府県を、略地図中の A~D から 1 つ選び、その記号を書け。



(高知県)

[解答欄]

[解答]A

[解説]

茶の生産が全国 1 位であるのは静岡県(地図の A)である。

(統計修正)「日本国勢図会 2018/2019」P159

[問題]

次は、みかん、茶の都道府県別の生産の割合を示したものである。X にあてはまる都道府県名を答えよ。

みかん(2016 年)	和歌山県(20.0%), 愛媛県(15.9%), X(15.1%), 熊本県(10.4%)
茶(2017 年)	X(37.6%), 鹿児島県(32.4%), 三重県(7.5%), 宮崎県(4.6%)

(鳥取県)

[解答欄]

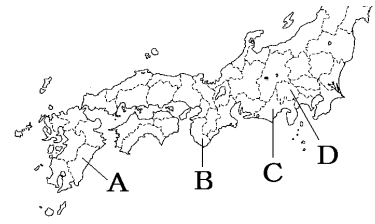
[解答]静岡県

(統計修正)「日本国勢図会 2018/2019」P155, 159

【】 農業生産全般

【問題】

右の略地図中の A～D のいずれかの県の農業について述べた文のうち、B について述べた文として正しいものはどれか。



ア 日当たりのよい山の斜面でみかんの栽培が行われ収穫量は全国 1 位である。

イ 温暖な気候の平野部できゅうりの促成栽培が行われ収穫量は全国 1 位である。

ウ 水はけのよい扇状地でぶどうの栽培が行われ収穫量は全国 1 位である。

エ 日当たりと水はけのよい台地で茶の栽培が行われ収穫量は全国 1 位である。

(鹿児島県)

【解答欄】

【解答】ア

【解説】

アは B の和歌山県、イは A の宮崎県、ウは D の山梨県、エは C の静岡県についての説明である。

【問題】

表のア～エは、地図の A～D のいずれかを示している。ア～エに当たる県を、A～D の中からそれぞれ選び、県名も書け。

道・県	農業生産額 (億円)	米 (億円)	果実 (億円)	畜産 (億円)
北海道	10,705	1,301	51	5,616
ア	2,293	867	599	339
イ	1,716	1,012	69	326
ウ	2,433	600	99	1,352
エ	2,835	508	772	815



(2013 年)

(静岡県改)

【解答欄】

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

【解答】ア D, 山形県 イ B, 秋田県 ウ C, 岩手県 エ A, 青森県

【解説】

米の生産順位(2013年)は、①新潟県(7.7%)、②北海道(7.3%)、③秋田県(6.1%)、④山形県(4.8%)、⑤茨城県(4.8%)、⑥宮城県(4.6%)、⑦福島県(4.4%)、⑧栃木県(4.2%)、⑨千葉県(3.9%)、⑩青森県(3.5%)、⑪岩手県(3.5%)で、東北では秋田県が一番多い。したがって、イは秋田県(B)と判断できる。

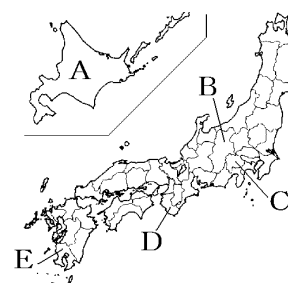


果実の生産額が多いアとエは青森県(りんご)か山形県(おうとう、ぶどう)であるが、米の生産順位は山形県が青森県より多いので、アが山形県(D)、エが青森県(A)と判断できる。畜産が多いウは岩手県(C)である。

(統計修正)「データで見る県勢 2016」 P180, 181

【問題】

表は、地図中の都道府県 A～E の農産物生産量(2014年)を示したものである。地図中の A～E の都道府県に該当するものを、表中のア～オからそれぞれ1つずつ選べ。



	かんしょ (さつまいも)(千t)	ばれいしょ (じゃがいも)(千t)	みかん (千t)	ぶどう (千t)	りんご (千t)
ア	—	1916	—	7	8
イ	—	1	174	—	—
ウ	—	5	—	45	1
エ	—	21	—	30	163
オ	336	94	15	—	—

(鳥取県改)

【解答欄】

A	B	C	D
E			

【解答】A ア B エ C ウ D イ E オ

【解説】

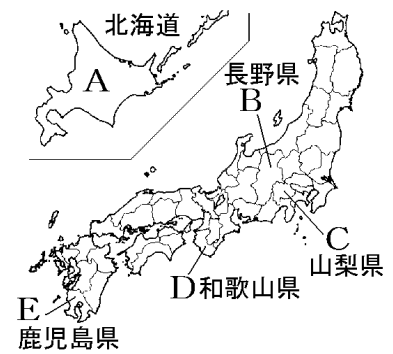
Bは長野県で、りんごの生産量が青森県に次いで第2位で、A～Dの中では最も多い。したがって、エが長野県(B)と判断できる。

みかんの生産順位(2014年)は、①和歌山県、②愛媛県、③静岡県なので、イは和歌山県(D)と判断できる。

ばれいしょ(じゃがいも)の生産日本一(2014年)は北海道(78%)である。したがって、アは北海道(A)とわかる。

かんしょ(さつまいも)の生産順位(2014年)は、①鹿児島県、②茨城県、③千葉県であるので、オは鹿児島県(E)と判断できる。

(統計修正)「データで見る県勢 2016」P187, 188, 190



[問題]

次の表は島根県、北海道、新潟県、山梨県、宮崎県の農産物統計である。ア～エはそれぞれ何県を表しているか。

道県名	小麦収穫量 (百 t) (2014年)	ぶどう収穫量 (百 t) (2014年)	ピーマン収穫 量(百 t) (2014年)	農業産出額に占め る米の割合(%) (2013年)
島根県	1	26	8	38.5
ア	2	452	—	8.3
イ	5514	74	53	12.2
ウ	3	21	277	6.3
エ	—	26	8	56.1
全国計	8524	1892	1452	

(島根県改)

[解答欄]

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

[解答]ア 山梨県 イ 北海道 ウ 宮崎県 エ 新潟県

[解説]

宮崎県といえば、冬でも温暖な気候を利用した野菜(ピーマンやキュウリ)の従業栽培が有名である。

ピーマンの生産順位(2014年)は、①茨城県、②宮崎県、③高知県、④鹿児島県である。したがって、表のウが宮崎県であると判断できる。

ぶどうの生産順位(2014年)は、①山梨県、②長野県、③山形県なので、アが山梨県と判断できる。

小麦は8割以上を輸入に頼っているが、国内の生産順位(2014年)は、①北海道、②福岡県、③佐賀県となっている。



したがって、イが北海道と判断できる。

残りのエは新潟県である。日本海に面した新潟県は冬の積雪のために二期作は行えず、水田単作地帯となっており、農業産出額に占める米の割合も高くなっている。

(統計修正)「データで見る県勢 2016」P180, 186, 188, 191

**[問題]**

次の表は、新潟県、千葉県、兵庫県、鳥取県について農産物の収穫量および水産物の漁獲量を示したものである。このうち兵庫県にあたるものを表中のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

	農産物(2014年)		水産物(2013年)	
	米(t)	日本なし(t)	まぐろ類(t)	かに類(t)
ア	184,600	1,480	6	3,670
イ	656,900	11,700	1,632	2,910
ウ	336,000	33,500	360	9
エ	67,700	18,500	2,282	4,752

(鳥取県)

**[解答欄]**

**[解答]ア**

**[解説]**

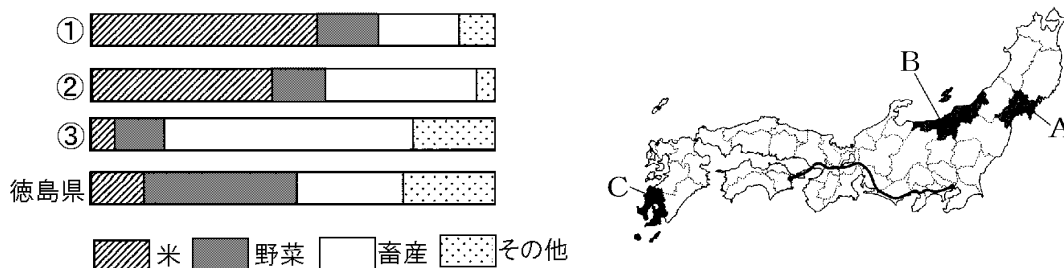
日本なしの生産順位(2014年)は、①千葉県、②茨城県で、鳥取県も生産が多い(5位)ので、ウが千葉県、エが鳥取県と判断できる。米の生産は新潟県と北海道が日本1,2位を争っているので、イが新潟県であることがわかる。したがって、兵庫県は残りのアである。

(統計修正)「データで見る県勢 2016」P186, 188, 203, 204



[問題]

下の資料は、略地図中の A～C の各県と徳島県の農業生産額に占める米、野菜、畜産の割合(2013年)を示したものである。資料中の①～③のグラフは、それぞれ略地図中の A～C の県のいずれかにあたる。これを見て、次の各問いに答えよ。



- 資料中の①～③にあてはまる県はどれか、略地図中の A～C から 1 つずつ選べ。
- 資料中の徳島県のグラフから、徳島県では農業生産額に占める野菜の割合が大きいことがわかる。その理由を「大都市」という語句を用いて簡潔に書け。

(徳島県)

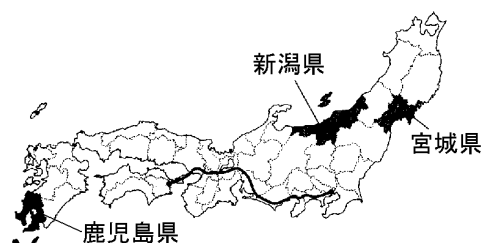
[解答欄]

(1)①	②	③
(2)		

[解答](1)①B ②A ③C (2) 大都市に近く、新鮮な野菜を供給できるから。

[解説]

③は、米の割合が極端に低く、畜産の割合が高いことからCの鹿児島県と判断できる。鹿児島県はシラス台地が広がり、水もちが悪いため水田に適さない所が多く畑作や畜産が農業の中心である。とくに畜産は日本でも有数である(肉用牛 2 位, 豚 1 位, 肉用若鶏 1～2 位)。米の割合が高い①はBの新潟県である。新潟県は日本海に面した豪雪地帯で、米田単作地帯となっている(冬は積雪のために農業ができない)。



(統計修正)「データで見る県勢 2016」 P182

【】日本の食糧自給率

[問題]

わたしたちの食生活は、肉類、果実類等の消費が増え、食料を外国からの輸入に依存するようになってきたといえる。このことについて、不安な面が指摘されることがある。それはどのようなことか説明せよ。

(富山県)

[解答欄]

[解答]貿易が停止した場合に食糧不足になるおそれがある。

[解説]

日本の食糧自給率は、他国に比べて、いちじるしく低い(2016年の穀物自給率は28%、供給熱量自給率は38%)。平和なときであれば問題はないが、国際紛争や戦争で海外からの食料輸入が確保できなくなるおそれがまったくないとは言い切れない。また、世界的な不作が続いた場合、必要な輸入量の確保が難しくなるおそれもある。

(統計修正)「日本国勢図会 2018/2019」P134

[問題]

次の文中の( )にあてはまることばを、「外国産」、「価格」という2つの語句を用いて、簡潔に書け。

たかし：大豆は、油やみそなどの原料になるんだね。

母：そうよ。栄養価も高くて、昔からよく食べられていたわ。

たかし：なぜ、アメリカ産やブラジル産が多くて、日本産が少ないの。

母：私が生まれた昭和36年に輸入が自由化されて、次第に関税が引き下げられたの。だから、( )ので、日本での生産量が減ったのよ。

たかし：輸入の自由化は、日本の農産物の生産に影響したんだね。

(大分県)

[解答欄]

[解答]外国産の安い価格の大豆が輸入されるようになった



[問題]

わが国の果実の自給率(%)を計算するためには、下のうち、どの式を用いればよいか、1つ選んで、その記号を書け。

ア  $\frac{\text{果実の輸入量}}{\text{果実の国内生産量}} \times 100$

イ  $\frac{\text{果実の国内生産量}}{\text{果実の輸入量}} \times 100$

ウ  $\frac{\text{果実の国内消費量}}{\text{果実の国内生産量}} \times 100$

エ  $\frac{\text{果実の国内生産量}}{\text{果実の国内消費量}} \times 100$

(香川県)

[解答欄]

[解答]エ

【】日本の漁業・林業

【】漁業

[経済水域]

[問題]

世界各国が( )を設定して漁獲量を制限するようになり、日本の遠洋漁業の漁獲量は減少している。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]経済水域

[解説]

1970年代に、世界各国は資源保護のために200海里(約370km)経済水域を設定した。経済水域とは沿岸国が水産資源や海底の鉱物資源を管理できる水域で、沿岸国の許可がなければ他国の漁船は操業できない。これによって遠洋漁業の漁獲量は大幅に減少した。

[問題]

経済水域とは何か、「資源」という語を用いて、簡潔に書け。

(群馬県)

[解答欄]

[解答]沿岸国が水産資源や海底の鉱物資源を管理できる水域

[問題]

わが国の遠洋漁業の漁獲量が減少した理由として、最も適当なものはどれか。1つ選んで、その記号を書け。

- ア 世界の国々が、200海里経済水域を設定したため。
- イ 魚付林とよばれる海岸の森林を大切にしてきたため。
- ウ わが国の近海に、寒流と暖流のぶつかる潮目があるため。
- エ わが国の近海に、大陸棚が広がっているため。

(香川県)

[解答欄]

[解答]ア

[問題]

日本の遠洋漁業の漁獲量は1970年代中ごろから大きく減少した。その理由について「200海里」ということばを使い、簡単に説明せよ。

(北海道)

[解答欄]

--

[解答]各国が200海里の経済水域を設定し、漁獲量を制限したため。

[各漁業形態]

[問題]

次の文の①～③の( )内よりそれぞれ適語を選べ。

①(沿岸／沖合／遠洋)漁業では、1965年から1970年にかけて漁獲量が大幅に増加した。しかし、その後各国が設定した200海里経済水域内で漁業活動の規制を受けたことなどにより、漁獲量は減少した。②(沿岸／沖合／遠洋)漁業では、1970年から1985年にかけて漁獲量が大幅に増加した。しかし、魚の種類によっては資源量の減少をまねき、1995年の漁獲量は、1970年と同じ水準になった。③(沿岸／沖合／遠洋)漁業は、家族単位の小規模な経営を行っている場合が多い。

(千葉県)

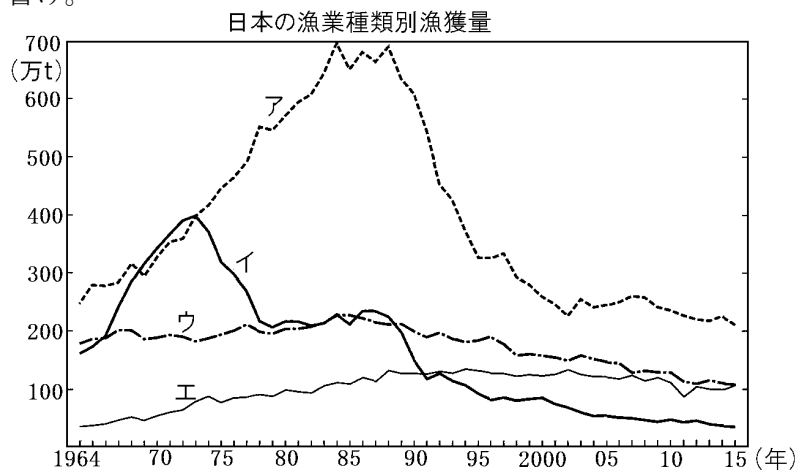
[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 遠洋 ② 沖合 ③ 沿岸

[問題]

次のグラフ中のア～エは、沿岸漁業、遠洋漁業、沖合漁業、海面養殖業のいずれかの漁業形態による漁獲量と一致する。ア～エのうち、海面養殖業にあたるものはどれか。その記号を書け。



(広島県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

アは沖合漁業，イは遠洋漁業，ウは沿岸漁業，エは海面養殖業である。

[輸入]

[問題]

水産物が世界各地から輸入されるようになった背景について述べた文として，誤っているものを，次のア～エから1つ選び，記号で書け。

ア 漁獲量拡大の目的で，200海里経済水域を撤廃したため。

イ 国内において後継者が不足し，漁業従事者が減少したため。

ウ 資源保護の目的で，一部の水産物の漁獲が制限されたため。

エ 輸送技術の発達で，新鮮な水産物の輸入が可能になったため。

(宮城県)

[解答欄]

[解答]ア

[問題]

日本の魚介類について，国内の生産量が減少し，輸入量が増加したため，自給率が大きく低下したが，このようになった原因として，どのようなことが考えられるか，説明せよ。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]漁獲規制や近海での水産資源の減少のために国内の生産量が減少し，また海外から安い魚介類が手に入りやすくなって輸入が増えたことが原因と考えられる。

[栽培漁業・養殖漁業]

[問題]

わが国では各地で、魚や貝の卵から人工的に育てた稚魚や稚貝を海や川などに放流し、成長したものを漁獲する漁業が行われているが、この漁業を何というか。次の[ ]から1つ選べ。

[ 遠洋漁業 栽培漁業 沖合漁業 養殖漁業 ]

(高知県)

[解答欄]

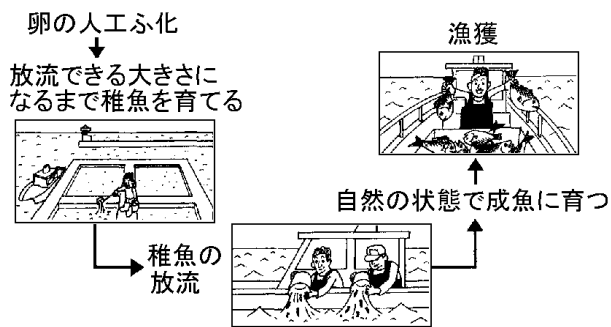
[解答]栽培漁業

[解説]

1960年代から「とる漁業から育てる漁業へ」の標語のもとに、養殖漁業と栽培漁業が進められてきた。養殖漁業は、内湾や入り江で、いけすやいかだを利用して、のり・かき・たい・はまち・くるまえび・ほたて貝などを育てる漁業である。栽培漁業は、卵をふ化させて、ある程度まで育ててから放流し、水産資源そのものを増やそうというやり方である。

[問題]

近年、これまでの「とる漁業」だけでなく、「育てる漁業」にも力が入れている。この「育てる漁業」のうち、次の図のような漁業の方法を何というか。



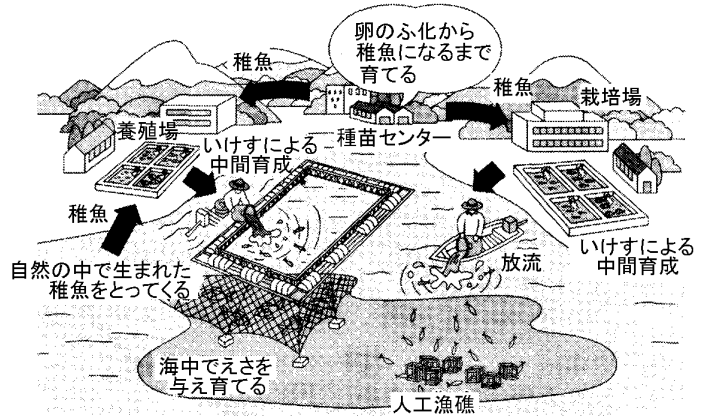
(岡山県)

[解答欄]

[解答]栽培漁業

[問題]

養殖漁業は、人工の池の中で( ① )を育てた後、海の中に網を張って大きくなるまで人工的に育てる漁業である。栽培漁業は、卵からふ化させた(①)をある程度まで人工の池の中で育てた後、自然の海や川に( ② )する漁業である。(①), (②)にあてはまる語句を右の図中の語句を使って、それぞれ書け。



(佐賀県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 稚魚 ② 放流

[問題]

海に網を張るなどして、魚や貝を大きくなるまで育てる漁業を(遠洋／沿岸／沖合／養殖)漁業という。文中の( )内から適語を選べ。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]養殖

[問題]

養殖漁業と栽培漁業の違いを書け。

(山形県)

[解答欄]

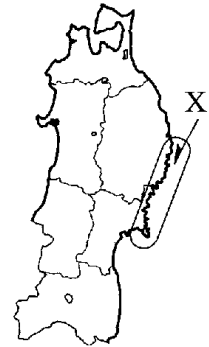
[解答]養殖漁業は、魚介類を出荷するまで育てる漁業であり、栽培漁業は、ある程度育てて海や川に放流し、成長した後でとる漁業である。

[漁場など]

[問題]

略地図中に X で示した地域の沖合は、太平洋を南から流れてくる暖流と北から流れてくる寒流の影響で、好漁場になっている。この暖流と寒流は、それぞれ何とよばれるか。そのよび名を書け。

(香川県)



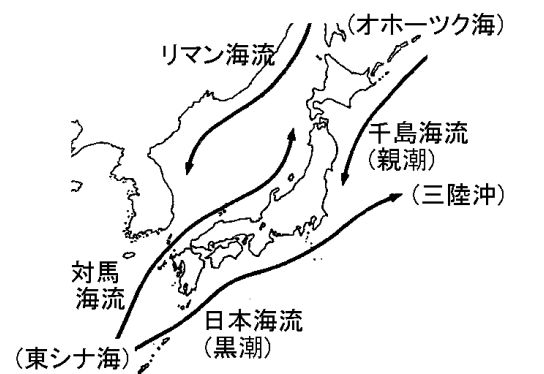
[解答欄]

暖流：	寒流：
-----	-----

[解答]暖流：黒潮(日本海流) 寒流：親潮(千島海流)

[解説]

日本付近の海は世界三大漁場の1つになっている。好漁場となるのは、大陸棚の比較的浅いところ(バンク)、寒流と暖流がぶつかる潮目など、魚のえさになるプランクトンが大量に発生する海域である。例えば、日本の東北地方の三陸海岸沖は、暖流の日本海流(黒潮)と寒流の千島海流(親潮)がぶつかって潮目ができ、プランクトンが大量に発生し、それをえさにする魚が多く集まるため好漁場となっている。また、大陸棚の広がる東シナ海(西海漁場)、オホーツク海やベーリング海(北洋漁業)も好漁場になっている。



[問題]

三陸海岸の沖は、魚が集まるよい漁場になっている。その理由を沖を流れる寒流と暖流の名をあげて、簡単に書け。

(北海道)

[解答欄]

--

[解答]寒流の親潮(千島海流)と暖流の黒潮(日本海流)がぶつかる潮目ができているから。

[問題]

日本の近海は、世界の3大漁場の1つに含まれている。世界の3大漁場はどのような自然条件のところにあるか、25字程度で書け。

(青森県)

[解答欄]

--

[解答]大陸棚の上や暖流と寒流のぶつかる潮目ができる海域。

[問題]

三陸海岸など全国各地で「漁民の森づくり活動」が行われており、河川の上流にある山に植林をするなどの努力をして豊かな森林を守っている。山に植林している理由を、次の3語を用いて、35字程度で書け。

[ 漁場 土砂の流出 栄養分 ]

(青森県)

[解答欄]

[解答]山からの土砂の流失を防ぎ、河川に流れこむ栄養分で豊かな漁場を守るため。

[問題]

右の地図中の●印は我が国の、( )を上位10位まで取り上げ、その分布を表したものである。( )に当てはまる言葉として適当なものを、ア～エから1つ選び、その記号を書け。

- ア 水あげ量が多い漁港
- イ 最大出力が大きい火力発電所
- ウ 人口が多い都市
- エ 乗降客数が多い空港

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]ア





【】 林業

[問題]

日本の木材自給率は、73.7%(1965年)から34.8%(2016年)に低下している。このように、木材自給率が低下した要因を簡潔に書け。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]国産木材は輸入木材より高いので

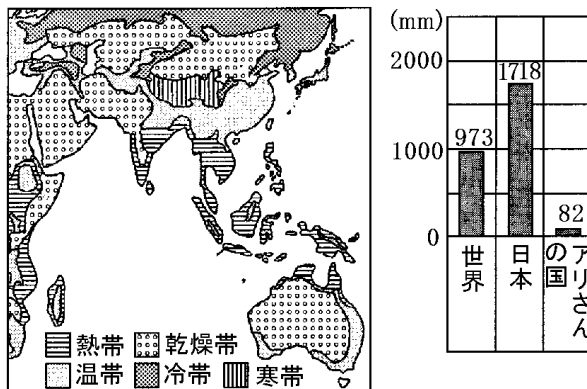
[解説]

日本は<sup>濠</sup>帯の気候で降水量が多いため、森林資源が豊富である。また、かつて、国有林などの<sup>伐採</sup>跡地にすぎやひのきの植林がさかんに進められたため伐採可能な人工林も着実に増えている。しかし、日本の森林は山間部に多いため、伐採して運び出すまでの費用がかかり、安い輸入材にくらべて割高になってしまう。木材<sup>自給率</sup>は1960年ごろは90%近くあったが、1970年ごろから、安い輸入材がふえ、国産材を上回るようになり、2016年現在は34.8%になった。

(統計修正)「日本国勢図会 2018/2019」 P171

[問題]

日本は、( )から、樹木がよく育ち、木材を得やすい。( )は、樹木がよく育つ理由を、説明した部分である。資料の読み取りをもとに、前後がつながるように、18字以内で書け。



(長野県)

[解答欄]

[解答]大部分が温帯の気候で、降水量が多い

[問題]

天然林の割合が減り，人工林の割合が増えた理由として最も適切なものを，次の中から 1 つ選べ。

- ア 輸入木材よりも日本の木材の価格が安くなったため。
- イ 日本の木材の価格が高くなり，林業従事者も増えてきたため。
- ウ 人工林は間伐などの手入れの必要がなく，管理しやすいため。
- エ 国有林などの伐採跡地にすぎやひのきの植林がさかんに進められたため。

(青森県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

さまざまな産業を，第 1 次産業，第 2 次産業，第 3 次産業に分類すると，漁業は第 1 次産業に分類することができる。漁業と同様に第 1 次産業に分類される産業はどれか，最も適当なものを次から 1 つ選べ。

[ 林業 建設業 運輸業 金融業 ]

(三重県)

[解答欄]

[解答]林業

[問題]

日本の農業・林業・漁業の特徴を説明した文として正しいものを次のア～エより 1 つ選び，記号で答えよ。

- ア 日本の食料自給率は，近年ドイツ・イギリスを上回った。
- イ 日本は，世界でも面積あたりの農産物の収穫量が少ない国である。
- ウ 日本の木材輸入量は，年々増加している。
- エ 日本の漁業は，とる漁業から育てる漁業へと移りつつある。

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]エ

**【解説】**

アは誤り。日本の食料自給率は39%、イギリスは72%、ドイツは92%である。

イは誤り。日本は、世界でも面積あたりの農産物の収穫量が多い国である。

ウは誤り。日本の木材輸入は増加し続けたが、1996年以降減少している。2016年の木材自給率は34.8%である。

**【問題】**

まきさんは、自分が住む地域では林業がさかんであることに気づき、日本の林業について調べた。日本の森林と林業について述べた文として適当でないものを、ア～エから1つ選べ。

ア 日本は国土の半分以上が森林であり、古くから林業が行われてきた。

イ 日本では、1960年以降、林業に従事する人の数が増加し続けている。

ウ 森林には、水を蓄える役割や海の漁場保全という役割が備わっている。

エ 林業促進のため、地元の木材を使った産直住宅を奨励する地域も存在する。

(大分県)

**【解答欄】**

**【解答】**イ

[印刷／他の PDF ファイルについて]

※ このファイルは、FdData 入試社会地理(6,800 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdData 入試社会地理は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※FdData 入試社会・入試理科全分野の PDF ファイル、FdData 中間期末(社会・理科・数学)全分野の PDF ファイル、および製品版の購入方法は <http://www.fdtype.com/dan/> に掲載しております。

【Fd 教材開発】(092) 404-2266

Mail : info2@fdtext.com